

令和 5年 2月 24日

大津町議会議長 桐原 則雄 様

大津町議会議員 西川 秀貢

自 己 研 修 成 果 報 告 書

大津町議会議員の自己研修に関する実施要綱第4条により、先に実施した研修について、次のとおり成果を報告します。

記

1. 研修日時

令和5年2月20日(月)～2月21日(火)

2. 研修先

- ①宇城市図書館
- ②人吉市視察(豪雨災害後の復旧状況及び現状)
- ③水上村役場(企業誘致関係や過疎化対策等)

3. 研修目的

宇城市では、民間による管理、運営を行う、宇城市不知火美術館・図書館が、どのような管理運営がされているかについて。

人吉市では、水害から復興した酒造元において、復旧の過程を学ぶとともに、防災の在り方、その後のまちづくりの進め方について。

水上村では、トレイルランなどの整備状況や、全国から集まる陸上チームの合宿を誘致するにあたり、行政側の取り組みについて、以上の件につき研修を行うものです。

4. 成果(具体的に)

①宇城市図書館では、1日800人程度の利用があり、休日では倍の利用がある。民間の事業者が入る事により、様々なサービス提供や仕掛けを感じた。又、絵本や、子供たちの遊び場等、一緒にする事で年齢を問わず利用があった。

②人吉市では、豪雨災害で最も被害が大きかった大和一酒造を視察した。社長の話で、廃業も考えたが、廻り方々の助けで、何とかここまでこれたと言う事だった。豪雨で被災していく中、近所の方々が亡くなられていく姿をめのあたりにどうにも出来なかったと言う事だった。本町においても、突然の災害に備え、更なる準備が必要と感じた。

③水上村役場では、スポーツ関係にかなり力を入れている。奥球磨ロードレースで公認をとる事で実業団や有名選手を参加させ、地域を活性化している。又、ふるさと納税においても、昨年は1億円程度であったが、今年13億円と、様々な努力、知恵により頑張っている。人口2000人の村で官民一体となった施策に感動した。今回の研修を通じ、本町でも取り入れる所は取り入れ、今後の発展に繋げて行きたいと思う。